

□ 要請番号 (JL04520A10)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	H114 理学療法士		個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

バガノール区保健センター

3) 任地 (ウランバートル市バガノール区) JICA事務所の所在地 (ウランバートル)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

バガノール区は、首都から約130km離れた場所に位置するウランバートル市の飛び地であり、人口3万人を有する。同センターは、二次レベルの保健医療施設であり、当区住民及び近隣の住民2.5万人に対し、医療サービスを提供している。病床数230床、入院12科、外来11科、年間予算は2.6億円。平均外来患者数は700名/日。全職員314名(うち医師65名、看護師102名、理学療法士(以下、PT)1名)。過去にJICA海外協力隊(看護師2名、保健師4名)が派遣され、今後は歯科衛生士隊員が派遣される予定(2020年4月頃)である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モンゴルでは、脳疾患や外傷後遺症により運動機能が低下した患者が多い。加えて、同区は炭鉱業が主産業であることから、呼吸器疾患や整形外科疾患も多く、リハビリに対するニーズは高い。他方、同国では、2011年に資格を持つPTが輩出されたばかりであり、実務経験豊富な人材は未だ少ない。同センターでは、PTが理学療法を行っているものの、実務経験が浅く、個別評価に基づく理学療法が実施できていないことから、PTの知識及び技術の向上が喫緊の課題となっている。このような背景から、PTの能力向上を図り、同区のリハビリの質を高めることを目的として、JICA海外協力隊が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 患者に対し、個別評価に基づいた理学療法を行う。
 2. 同僚に対し、日本の理学療法を紹介しつつ、理学療法評価について助言・実技指導を行う。
 3. リハビリを継続してできるよう、自宅で行える訓練を患者とその家族に指導・助言する。
 4. リハビリ科の医師や看護師を対象として、リハビリの質の向上を目的とした勉強会を開催する。
- *マンパワーとしての活動が求められる場合がある
 *理学療法を受ける患者数(入院・外来)20名/日
 *主に中枢神経疾患及び整形外科疾患

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

リハビリ室2部屋(成人用と小児用)、リハビリ機材全般(プラットホーム、平行棒、歩行訓練用階段、牽引器等)、机、椅子、コンピューター

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

PT(20代女性、実務経験2年)

活動対象者:以下のリハビリ科医療従事者

同僚PT
入院担当の神経・リハビリ科医師3名、看護師5名
外来担当の伝統治療・リハビリ科医師2名、看護師8名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(理学療法士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

バガノール区保健センターのホームページ <http://www.bnemn.ub.gov.mn/>

【類似職種】